

開館30周年記念  
国立民族学博物館公開講演会

# 食文化の国際化



2007年 10月12日(金) 18:00~20:10 (開場17:00)  
日経ホール (東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社ビル内)

定員▶600名 参加費▶無料

注意事項 ●会場には必ず参加証をご持参下さい。参加証はお一人様一枚となっております。 ●参加証がない方は会場には入れませんのでご注意願います。

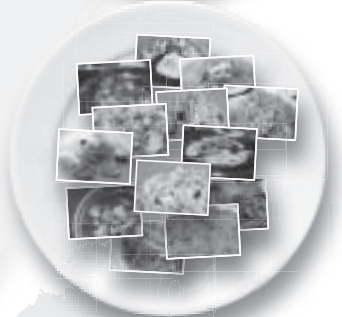
主催：国立民族学博物館・日本経済新聞社

# 食時国 文化代際 化の化

それぞれの風土に根ざすと考えられている食文化。  
いっぽうで「食」は、土地になかった要素をとりいれて、つねに変化していきます。  
食をとおして異文化に接する機会がふえたいま、食は、理解されたり誤解されたり  
しながら多様化していきます。  
「食のグローバル化」をとおして、食とは何か、文化とは何かを考えましょう。

## Program

17:00~18:00	受付
18:00~18:05(5分)	開会：日本経済新聞社大阪本社編集局長 芹川洋一
18:05~18:10(5分)	挨拶：国立民族学博物館長 松園万亀雄
18:10~18:40(30分)	講演1：石毛直道「世界に広がる日本食」
18:40~19:00(20分)	講演2：朝倉敏夫「焼肉からYAKINIKUへ」
19:00~19:20(20分)	講演3：小長谷有紀「間違いだらけ?のモンゴル料理」
19:20~19:30(10分)	休憩
19:30~20:10(40分)	鼎談：石毛直道×朝倉敏夫×小長谷有紀 「食卓で築く国際理解」(司会：飯田卓)



### 1 講演 石毛直道(国立民族学博物館 名誉教授) 「世界に広がる日本食」

世界各地の都市で、日本料理店が大流行している。なぜ、日本食ブームがおきたのか? 食べ物の背後には日本文化がある。舌から理解する国際交流について考えてみよう。

#### ●石毛直道(いしげ なおみち)



1937年生まれ。1974年から国立民族学博物館に勤務。同館前館長、現在同館名誉教授、農学博士。学生時代から世界各地で探検、民族学調査に従事。食いしん坊の飲み助で、日本における食文化研究の開拓者。単著に『麵の文化史』(2006年、講談社)、『食卓文明論 チャップ台はどこへ消えた』(2005年、中央公論新社)などがある。

### 2 講演 朝倉敏夫(国立民族学博物館 民族文化研究部 教授) 「焼肉からYAKINIKUへ」

子どもたちが大好きな焼肉は、韓国料理なのか日本料理なのか? 「無煙ロースター」や「焼肉のタレ」の開発など、日本社会で進化してきた焼肉、それはいまや、Karaoke、TeriyakiとともにYakinikuとなって世界に進出している。焼肉を素材に「食のグローバル化」について民族学的に料理してみよう。

#### ●朝倉敏夫(あさくら としお)



韓国社会に暮らす人々の文化について、家族、食の視点から調査研究してきた。近年はアメリカ合衆国、中国、ロシア・サハリンなどにおける海外コリアンの生活に関する研究に取り組んでいる。著書に『日本の焼肉 韓国の刺身』(1994年、農文協)、『世界の食文化①韓国』(2005年、農文協)などがある。

### 3 講演 小長谷有紀(国立民族学博物館 研究戦略センター 教授) 「間違いだらけ?のモンゴル料理」

羊肉はモンゴル人にとって重要な食材である。ただし、世界各地でモンゴル料理として知られている食べ方は、実はモンゴルではあまり見られない。食文化は誤解されながら広がっている。私たちの食卓はそもそも理解と誤解の交差するグローバルな存在なのである。

#### ●小長谷有紀(こながや ゆき)



人と動物の関係について技術から儀礼まで幅広く、モンゴルや中央アジアの遊牧民を対象に研究。近年では環境保全や経済格差の是正を目的としてNGO活動にも携わっている。単著に『モンゴル草原の生活世界』(1996年、朝日新聞社)、編著に『世界の食文化③モンゴル』(2005年、農文協)などがある。

## 申込要項

申込方法：「10月12日講演会参加希望」と明記の上、1) 郵便番号、2) 住所、3) 氏名、4) 連絡先電話番号を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの1)~4)を必ず明記してください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。9月下旬に参加証を発送する予定にしております。当日は手話通訳もごさいます。

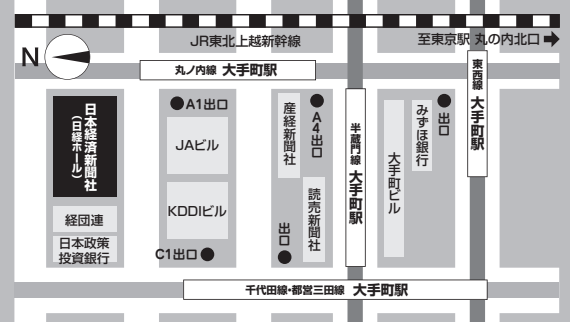
※参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会、及び本館が開催するシンポジウム・フォーラムなどのご案内に使用いたします。

みんなく携帯サイト  
■旬着情報を  
クリック!



宛 先：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1  
FAX 06-6878-8479  
E-mail koenkai@idc.minpaku.ac.jp

問合せ先：国立民族学博物館 研究協力課研究協力係  
TEL 06-6878-8209 <http://www.minpaku.ac.jp/>



- 地下鉄丸の内線大手町駅A1出口より左前。
- 地下鉄千代田線、都営三田線大手町駅下車C1出口より徒歩約5分。
- 地下鉄東西線大手町駅下車A4出口より徒歩約3分。
- JR東京駅丸の内側北口より徒歩約10分。
- JR神田駅西口から西口商店街を直進、外堀通りを左折、徒歩約10分。

※当ホールには駐車場がありませんので、他の交通機関をご利用ください。